

令和9年度転入学用
都城市立あやめ野中学校

転入学の案内

都城市教育委員会

目次

1	学びの多様化学校の概要・・・・・・・・・・	1
2	あやめ野中学校の特徴・・・・・・・・・・	2
3	あやめ野中学校の教育課程・・・・・・・・	4
4	あやめ野中学校の施設について・・・・・・・・	6
5	対象となる生徒・・・・・・・・・・	7
6	転入学に係るQ&A・・・・・・・・・・	8
7	終わりに～保護者の皆様へのお願い～	

はじめに

全国の不登校児童生徒数は年々増加し、令和6年度の国の調査においては、35万人を超えました。そのような状況の中、国は不登校児童生徒の実態に配慮した「学びの多様化学校」の設置を推進しています。

本市においても、不登校及び不登校傾向にある児童生徒の数は、年々増加を続けており、校内支援センター、教育支援センター等を設置し、支援の充実に取り組んでいるところです。

そのような中で、特に不登校の割合が高い中学校を対象に、新たな学びの場を確保し、社会的自立を目指した教育的支援を実施するため「学びの多様化学校」を設置しました。

学びの多様化学校の概要

学びの多様化学校とは

学びの多様化学校とは、文部科学大臣の指定を受け、不登校の児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成した学校で、**授業時数や学習内容、学校生活の様式などを柔軟に設定**しています。

都城市が設置する学びの多様化学校の概要

学校名	都城市立あやめ野中学校
学校設置場所	南九州大学都城キャンパス内（ひばり館2階）
学校の形態	本校型 ※入学・転校の手続きが必要
開校年度	令和8年度
対象学年	中学1年生～中学3年生 ※市内に住所を有する者
想定人数	各学年10人～15人を想定
在籍生徒数 (R8.4月時点)	31人（1年：10人 2年：11人 3年：10人）
学級	通常の学級 ※特別支援学級の設置予定はなし
通学方法	徒歩 自転車 送迎 公共交通機関 ※安全な通学方法を相談によって決定

学校名について

都城市立あやめ野中学校

【児童・生徒へのアンケートから】

- ◇「自然」に関する言葉は気持ちが落ち着く
 - ◇「地域」に関する言葉は分かりやすい・覚えやすい
- } 多数の意見

- ▶学校所在地は、都城市立野町と三股町の境に位置し、祝吉地区にある早水公園は、市の花であるアヤメが多数咲く公園として知られている。
- ▶アヤメの花言葉には「希望、よい便り」などがあり、都城の目指す学びの多様化学校のコンセプトに合致している。

市の花 **あやめ**（花言葉：希望・よい便り）＋ 立**野**（学校所在地）

＝ **あやめ野**中学校

目指す生徒像

ありのままの自分に自信をもって

やわらかな心で仲間を認め合い

めざす自分色の未来に向かって

あやめ野中学校の特徴

学校のコンセプト

つながりをキーワードに
自分らしさに誇りをもって社会的自立を目指す

学習とのつながり

緩やかなフレームのカリキュラムで個々のペースを尊重

- 自分の興味・関心を入り口に学べる教育課程で学びの意欲を醸成
- 学びたい・学び直したい内容を選択できる教育課程で基礎学力の向上

人とのつながり

同世代・教員に加え大学生との関わりの中で心理的安全性の担保

- 少人数・多世代の中で安心してコミュニケーションが図れる環境づくり
- 大学生を含む多様な他者との関わりの中で自己肯定感の醸成

地域や未来とのつながり

本物の体験を可能にする大学との連携で未来を創造

- 南九州大学の「教育資源」を生かし地域や社会とつながる良さを実感
- 自分の生き方と人・社会とのつながりを意識したキャリア教育で未来を設計

学びやすさ + 関わりやすさ + 自分らしさ = **登校しやすさ**
をサポート

南九州大学構内への設置について

これまでの市教育委員会と南九州大学の連携～青空ラボでの実績～

教育支援センター「青空ラボ」(於：南九州大学)

- ・ 時期：令和6年度から本格実施
平日 AM9:30～11:30
※令和5年度から(10月から)適応指導教室の分室として試行
- ・ 支援者：教育相談員(+指導主事)
人間発達学部の学生サポーター
学生ボランティア ※月・水・金のみ
(+大学教員)
- ・ 活動内容
：学びの多様化に応える
(教科学習、体育、図工、SST、教育相談等)



青空ラボの活動の実例



大学教員の提案で、大学の講義(体育)に参加し一緒に学習

施設やノウハウの活用
環境園芸学科の学生の協力で、夏野菜の農業体験を実施



不登校支援チーム「なないろ」のメンバー

- ・ピアヘルパーの資格をもった学生
- ・青空ラボ学生ボランティアのメインスタッフ
→ なないろ以外にもサポート学生が多数登録
- ・シフトを組んで毎回1～3名が支援に参加
- ・年齢の近い大学生の存在・関係性は積極的なコミュニケーションの起点となり
- ・自己肯定感の高揚 ・生き方のモデルに

南九州大学との連携による不登校支援の実績を生かす

▶ あやめ野中学校の特徴

南九州大学との連携

大学生との関わりの中で
コミュニケーション力や**自己肯定感**を高める

大学生の存在

- ・ 年齢の近い大学生は生徒にとって気軽に話しやすい存在
- ・ 「保護者や先生」、「同級生や同世代」とは違う“ななめの関係”

大学の教育資源の活用で

学習や体験の充実を図って**登校意欲**や**学習意欲**を高める

大学構内への学校設置

- ・ 一般の学校とは違った雰囲気の中で学校への抵抗感を軽減
- ・ 大学の先生の専門的な知識や大学施設に触れる機会の創出

【南九州大学からのメッセージ】

新たに開校する「学びの多様化学校」は、既存の枠にとらわれない、特色ある教育課程を編成される学校と伺っております。

その特色を実現するうえで、大学の持つ「知」と「環境」は大きな力になると考えています。教育学・保育学を学ぶ子ども教育学科の学生や教員に加え、農学を学ぶ学生・教員など、多角的な専門性の連携を通して、生徒たちの探究心と社会性を育む多彩な学びの提供を模索してまいります。

また、大学にあるピアノ室、家庭科室、体育館、農場といった施設を可能な限り活用し、中学生の好奇心を刺激し、将来の可能性を広げる「大学ならではの教育環境」を整えていきます。

学びの多様化学校が、すべての子どもたちにとって、自分の個性の可能性を信じ、安心して学び、未来への希望を見つけられる「希望の学び舎」となることを心から願っております。

あやめ野中学校の教育課程

ゆとりある教育課程について

中学校の1学年あたりの標準授業時数は1,015時間（年間35週基準）ですが、あやめ野中学校においては、175時間削減し、年間の授業時数を840時間としています。また、複数の教科を統合した新たな教科を新設したり、1日4時間授業にしたりするなど、ゆとりある教育課程を編成しています。

	国語	社会	数学	理科	保健体育	外国語	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	ライフデザイン	個別学習	協働探究
※3学年共通												
週時数 ※3学年共通	3	2	3	2	2	3	1	2	1	2	1	2
年時数 ※3学年共通	105	70	105	70	70	105	35	70	35	70	35	70
3年間計	315	210	315	210	210	315	105	210	105	210	105	210
3年間での削減時数	70	140	70	175	105	105	0	+20	0			

特色ある教科等

ライフデザイン

音楽、美術、技術・家庭を統合した教科。各教科の基礎的な内容を学習しつつ、体験的な活動を中心に生活を豊かにするスキルの向上を目指す。

個別学習

自分の学習状況に応じて、学習内容を選択し学び直しができる。
1日10分×5日のモジュール方式で、1週間で50分の1単位時間。
短時間の学習時間で集中して取り組み、学習の日常化を図る。

協働探究

自分の興味・関心のあるテーマについて、個人や少人数で探究的に学びを深める学習。体験活動や実践的な学習を取り入れることで、思考力・判断力・表現力等を養う。

学び直しの時間

個別学習の時間に加え、これまでの学習の定着状況の違いを考慮し、国語・数学は週3時間のうち1時間を、教科の学び直し等ができる時間として柔軟に設定可能。

教科の授業時数を削減したり、学び直しの時間を設定したりしますが、中学校の指導内容（当該学年の指導事項）についても、教科書を使って学習していきます。

あやめ野中学校の教育課程

校時程について

時 間	内 容
9:20-9:25	朝の会
9:25-9:45	朝 帯①② (特別活動・個別学習)
9:50-10:40	1校時
10:50-11:40	2校時
11:40-12:35	昼食・休み時間
12:35-12:45	昼 帯 (保健体育)
12:50-13:40	3校時
13:45-14:35	4校時
14:40-14:50	夕 帯 (英会話)
14:55-15:00	帰りの会

登下校時刻

ゆとりある登下校時刻の設定
9時20分登校 15時下校

朝・昼・夕の帯タイム

1日10分×5日のモジュール方式
朝帯タイム(特別活動・個別学習)
コミュニケーション活動による心の安定やソーシャルスキルの向上、個別学習では、基礎的な力の定着を目指します。

昼帯タイム(保健体育)
軽運動で運動の日常化を図ったり保健学習をしたりします。

夕帯タイム(英会話)
下校前の時間は、日常英会話を取り組みやすいよう短時間で設定し、基礎的な力の定着を目指します。

その他の教育課程や学校生活について

授業の形態

教科の学習では、中学校の教科書を使った授業も行います。一斉指導や習熟度別授業、異学年合同授業など、生徒の学習状況に応じて授業形態を組み合わせ、学習意欲の向上と教科の目標達成を目指します。
状況に応じて、教室以外の場所でも学習をすることができるよう、授業の様子をオンラインで配信することも可能です。
また、定期テストではなく学習状況を把握するためのテストを行います。

学校行事

学校行事については、生徒の状況や意見を踏まえて、各種行事の在り方や実施方法を検討します。

制服や校則

指定の制服や体育服等はありません。現在使っている制服でも私服等でも登校することができます。学習や運動に適した学校生活を送りやすい服装・靴を着用してください。
校則については、教育活動を実施するために必要な一定のルールはありますが、一律に校則を決めるのではなく、生徒と一緒に安全・安心な学校生活のためのルールやマナーを考え、弾力的に対応します。

給食

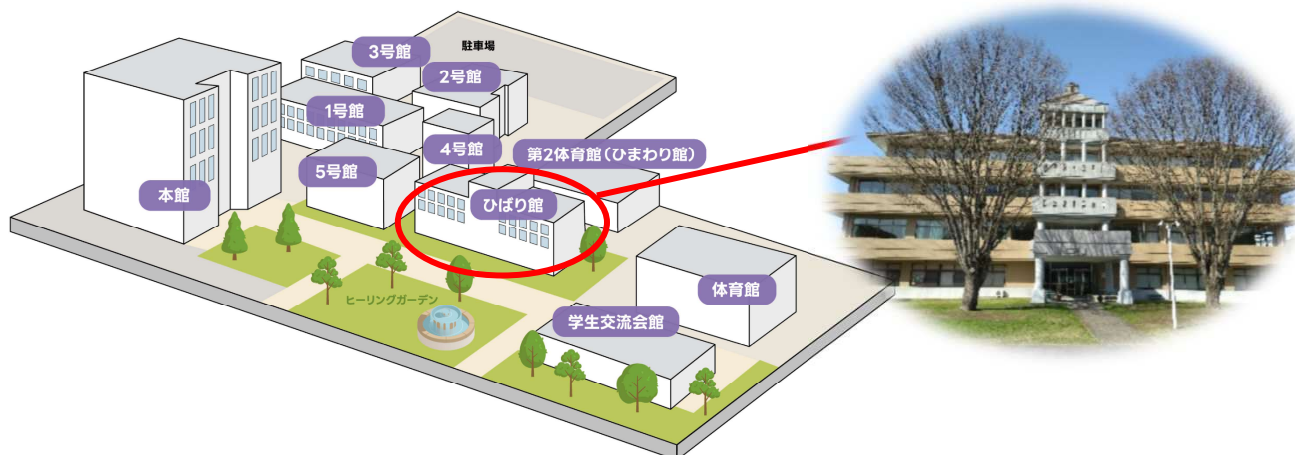
給食の提供はありません。各自で昼食を持参していただきます。

部活動

現在のところ、部活動の開設は予定していません。

あやめ野中学校の施設について

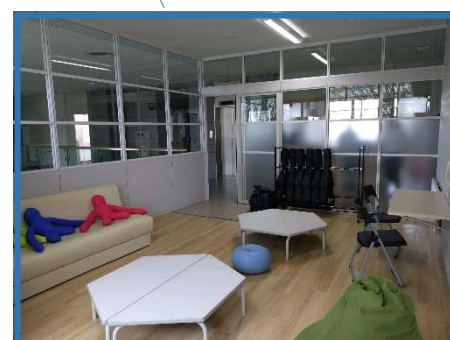
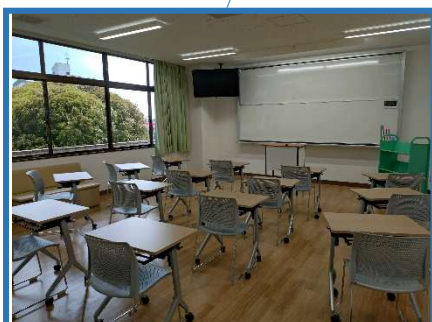
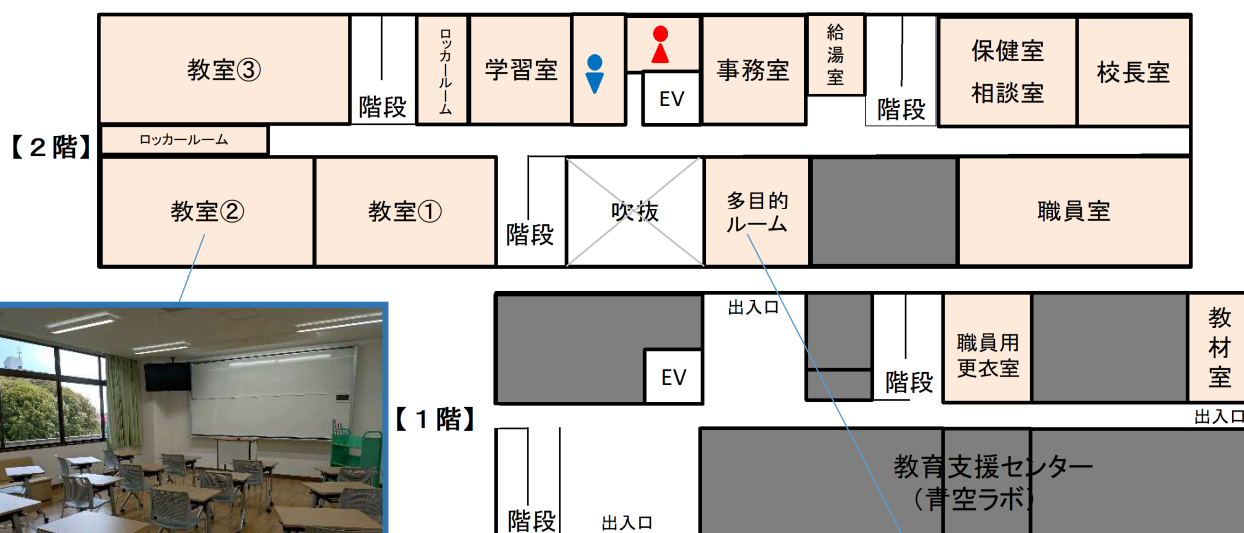
あやめ野中学校設置場所



教室配置

学校生活は2階を中心に

- ・教室①～③
- ・生徒用ロッカールーム
- ・多目的ルーム
- ・学習室
- ・保健室
- ・相談室
- ・職員室
- 等



- 机・いすやホワイトボードなど一般的な中学校とは違う雰囲気の教室設計です。
- 多目的ルームや相談室など安心できるスペースも確保しています。
- 体育館や理科室などの特別教室については、大学の施設を利用。

対象となる児童生徒

転入学の対象となる児童生徒について

令和9年度の中学1～3年生で、次の①～③のいずれにも該当する児童生徒
※令和8年度の小学6年生、中学1・2年生

- ①都城市内に住所を有する児童生徒
- ②年間90日以上欠席、またはそのような傾向が認められ、在籍する学校への登校（復帰）が困難な状態であると認められる児童生徒
- ③学びの多様化学校で学びたいという意思がある児童生徒

【90日以上欠席について】

- ・病気や経済的な理由を除き、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは、社会的要因や背景による欠席。
- ・学校外の教育支援センター（スプリング教室・青空ラボ）や民間のフリースクール等を利用した日については、この場合において欠席日数とする。

留意点

◇少人数の通常の学級の中で、不登校の実態に配慮した特別な教育課程の実施による支援を行いますが、特別支援学級や通級指導教室での指導・支援の性質とは異なります。

◇新中学1年生（現小学6年生）は、新たな中学校での生活の中で、人間関係の変化や学習環境の変化によって、校区の中学校へ通学できる例もあります。校区の中学校とあやめ野中学校それぞれの中学校生活を踏まえてご検討ください。

あやめ野中学校への転入学の考え方

あやめ野中学校は不登校生徒の実態に配慮した学校であり、安心して登校しやすい教育課程によって指導や支援を行っていきます。

しかし、それぞれの生徒の状況や希望進路等を総合的に考えると、全ての生徒に最適な学校とは限りません。あくまでも不登校支援の選択肢の1つです。そこで、転入学にあたっては、より良い学びの場や支援方法の検討のために、事前相談（学校体験・面談・教育相談）を必須としています。

転入学を希望される方は必ず事前相談会（学校体験・面談・教育相談）への申込みを行ってください。

＜事前相談会の流れ＞

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇保護者説明会(9/26,9/29)						
◆教育相談等希望申込み（10/14(水)までに在籍校へ提出）						
◇〔在籍校〕児童生徒の状況に関する意見書作成・提出(～10/23)						
在籍校への報告や 相談をお願いします		体験・面談・教育相談 10月末～1月中旬				
あやめ野中の体験にあわせて、教育支援 センター(スプリング教室・青空ラボ)の 見学もぜひご検討ください。見学希望の 場合は在籍校へ相談ください。				◆入学等申請書（1/22(金)までに在籍校へ提出）		
				◇転入学者決定協議(～2月上旬)		
				◇入学等審査結果通知(2月中旬予定)		
				◇不承認ケース再相談		

▶ 転入学に係るQ&A

Q1 転校をせずにあやめ野中学校に通学することはできますか？

A1 転校をせずに通学することはできません。入学または、転校の手続きが必要です。

Q2 希望をすれば転入学することができますか？

A2 希望のみで転入学できるわけではありません。
体験・面談・教育相談を必須としており、教育委員会から「あやめ野中学校への就学が最適である」と判断された場合に可能になります。

Q3 年度途中の転校は可能ですか？

A3 あやめ野中学校への転校については、体験・面談・教育相談が必須となるため、新年度からの転入学が原則となります。

Q4 あやめ野中学校に安定して登校できるようになった場合、居住地の校区の中学校へ再度転校することはできますか？

A4 あやめ野中学校は、中学校卒業までを想定して編成された特別の教育課程を実施するため、中学校卒業まであやめ野中学校に在籍することを原則としています。

Q5 次年度以降も2、3年生の募集は行いますか？

A5 募集を行う予定です。ただし、人数等の詳細は在籍する生徒の状況等をみながら決定します。

Q6 あやめ野中学校に転入学する場合に、学費等の特別な費用がかかることはありますか。

A6 あやめ野中学校は都城市立の学校ですので、他の都城市立の中学校と同様に転入学に係る特別な費用（入学金や授業料等）はかかりません。ただし、授業等で使用する副教材や体験活動等に係る費用は必要になることがあります。

Q7 卒業後、進学はできますか？

A7 他の中学校同様に進学が可能です。進学先については、公立・私立の高等学校（全日制・定時制・通信制）等が考えられます。将来の希望や学習状況を踏まえ、本人の希望に寄り添いながら、進路指導を行います。

▶ 転入学に係るQ&A

Q8 学びの多様化学校以外の不登校支援はありますか？

A8 校内での別室登校（SSR）支援や、在籍校に籍を置いたままの支援である、校外の教育支援センター（スプリング教室・青空ラボ）等の不登校支援があります。

都城市における校外の不登校支援（教育支援センター）について

本市では、不登校支援としまして教育支援センターでの支援も行っています。教育支援センターは、入学・転校によらず、現在の学校に在籍したまま支援が受けられる公的機関です。本人の状態によっては、教育支援センターの利用が適している場合があります。詳細は学校教育課(23 - 2186)へお問い合わせください。。

	スプリング教室	青空ラボ
開級日時	月～金 9：30～15：30	月～金 9：30～11：30
場所	八幡町別館2階 (都城市八幡町15街区10号)	南九州大学都城キャンパス内 あやめ野中学校1F (都城市立野町3764 - 1)
活動内容	自主学習 教育相談 体験活動	コミュニケーション活動 軽運動 ※火・木は自主学習や個人活動
スタッフ	教育相談員（教員免許あり）	教育相談員 大学生ボランティア・サポーター
特色	学習サポートや学校生活に近い環境で 学校への登校を目指した支援	相談員・大学生と活動を中心とした支 援の中でコミュニケーション力の向上

【これまでの教育相談の中での声】

- ◇今の状態は、家の外に出ることを嫌がったり集団の中に交わる事が苦手だったりするので、青空ラボを利用して、まずは、一歩家の外に出ることや、相手とうまくコミュニケーションが図れるような力をつけていきたい。
- ◇受験を考えると、静かな環境で自分のペースで学習を進められるスプリング教室を利用して、自分のペースを保ちながら、安心して受験勉強をしていきたい。
- ◇中学校入学で環境が変わるので、まずは校区の中学校に入学をして、校区の中学校への登校にチャレンジしたい。

▶ 終わりに ～保護者の皆様へのお願い～

入学等申請書を提出する前に

お子さん自身の思いを大切にしてください。

「今の環境を変えて、

学校に登校したい。 勉強ができるようになりたい。

友達との学校生活を楽しまたい。 自分に自信をもちたい。」

そのような思いをもった子ども達が安心して登校できる学校、自信をもって次のステージに進める学校を目指して、あやめ野中学校を設置しましたが、学びの多様化学校での支援はあくまでも選択肢の1つです。

申請書の提出にあたっては、まずは、あやめ野中学校に転入学をし実際に登校することになるお子さんご本人の思いを十分にご確認ください。

そして、教育相談の結果、どの支援につながった場合においても保護者の皆様の支えが必要不可欠です。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▶ 問い合わせについて

あやめ野中学校に関すること

◆都城市教育委員会 教育政策課◆

住 所：〒885-8555 都城市姫城町6街区21号
電 話：0986-23-9543（受付：平日8:30～17:15）
FAX：0986-24-1989
Mail：kyoikusoumu@city.miyakonojo.miyazaki.jp



学びの多様化学校ホームページ

教育支援センターや不登校のお悩みに関すること

◆都城市教育委員会 教育支援センター◆

住 所：〒885-0075 都城市八幡町15街区10号
電 話：0986-46-2088（受付：平日9:00～16:00）

◆都城市教育委員会 学校教育課◆

住 所：〒885-8555 都城市姫城町6街区21号
電 話：0986-23-2186（受付：平日8:30～17:15）
FAX：0986-23-6361
Mail：gakko@city.miyakonojo.miyazaki.jp



教育相談に関するホームページ